



迎春 2015年 未年



皆さん、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今年は無(ひつじ)年ですね。京都市動物園では、動物たちとふれあうことができる「おとぎの国」で、「ニッキ」「マッチャ」「チョコ」という名前のメスのヒツジ3頭を飼育しています。ニッキとマッチャは、大人になってから動物園へやってきました。ニッキは、3頭の中でも一番人になれていますが、マッチャは怖がり屋さんで、皆さんとふれあっていても、すぐ逃げようとしています。

チョコは、マッチャが動物園にやってきたときにすでにお腹の中におり、来園して約3箇半月後に生まれました。赤ちゃんのときから可愛い姿を見せてくれたので、皆さんからの愛情をいっぱい受けながら育ててきました。この3頭を見分けるのは、ちょっと難しいかもしれませんが、そんな時は、飼育員に尋ねてみてくださいね。

このヒツジたちはサフォークと言う品種で、皆さんがイメージされる顔の白いヒツジと違い、顔と四肢が黒いところが特徴です。冬の夜長になかなか寝つけない夜があるかと思いますが、そんなときはヒツジのことを思い出し、頭の中で数えてみてはいかがでしょうか。

できごと

誕生!

☆平成26年9月25日ブラジルバクにメスの赤ちゃんが生まれました! 現在、「ゾウの森」整備工事のため御覧いただけませんが、3月にお披露目しますので、しばらくお待ちください。



『平成26年11月6日撮影』

オープン!



☆エミュー・タンチョウ・オオヅル・クジャクの動物舎が新しくできました。鳥たちの姿を間近で御覧いただけます!

新しい仲間

☆平成26年11月17日にラオス人民民主共和国から4頭のアジアゾウの寄贈を受けました。3月に「ゾウの森」でお披露目します。楽しみに待っていてください!

3歳
オス



6歳
メス

4歳
メス



4歳
メス

☆レッサースローロリスがやってきました。



『オス』
『アクアマリン
ふくしま』から来園



『メス』
『埼玉こども動物
自然公園』から来園



☆東山動植物園からメスのキリンがやってきました。

☆王子動物園からメスのジャガーがやってきました。

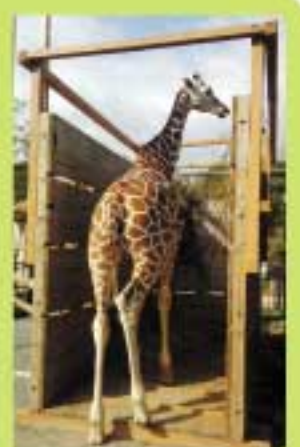


『ミフ』

みんな元気でね!

☆チンパンジーのスズミが愛媛県立とべ動物園へ、グレビーシマウマのキララは盛岡市動物公園へ、キリンのウリュウは豊橋総合動植物公園へ旅立ちました。

旅立ち





人工哺育記

子パンダ『ムータン』



ウーロン

性別：オス
誕生日：2011年6月5日
出生地：重慶市動物園
来園日：2013年3月30日



ジャスミン

性別：メス
誕生日：2010年7月14日
出生地：重慶市動物園
来園日：2013年3月30日



ムータン

性別：オス
誕生日：2014年6月19日
出生地：京都市動物園

2014年6月19日、京都市動物園では28年ぶりにレッサーパンダが生まれました！両親は中国からやってきた、ウーロン（オス3歳）とジャスミン（メス4歳）です。

出産準備 レッサーパンダは通常、単独で生活するため、繁殖期である1月から3月の間だけ同居を行い、無事に交尾を確認することができました。出産直後は母親が神経質になり、人が近づきすぎると子どもを育てなくなることもあるため、産室はバックヤードにある入院室を使用しました。野生では木の洞(うろ)などで出産するため、木箱を作り準備をしました。



いよいよ出産！ 入院室に移動して1箇月を迎えた頃、部屋にあった竹を巣材として運ぶ姿が見られました。そして6月19日の朝、無事2頭の子どもが生まれました。ジャスミンは1時間に1度のペースで授乳をしており、子どもが乳を欲しがるとお腹を見せて授乳している様子が観察できました。



7月19日 事件です！ 育児は順調に行っていましたが、出産から1箇月後事件が起こりました。母親のジャスミンが床に倒れていたのです（その時、2頭の子どものうち1頭は残念ながらすでに肺炎で亡くなっていました）。すぐに母親を診察室へ運び、生き残った1頭の子ども（ムータン）を人工哺育器に入れました。



人工哺育

治療が功を奏し、ジャスミンは何とか一命を取り留めましたが、育児ができる状態ではありませんでした。そこで、ムータンを人工哺育に切り替えることにしました。生後1箇月を過ぎていたこともあり、あまり手はかかりませんでした。体重約700gで目も開きかけ、体毛はほとんど灰色でうっすら模様が見える程度でした。しばらく母乳を飲んでいたので、犬用ミルクに吸い付くか不安でしたが、ためらうことなく飲みだしたので安心しました。



哺乳は・・・

7時30分から21時まで1日4回の哺乳を行いました。犬用ミルクがとても気に入ったようで、よく飲みました。しかし、ミルクは栄養価が高いため体重の増加が早く、時には肥満で死亡することもあるようです。そのため、ミルクを欲しがるムータンを制し、授乳量を抑えつつ徐々に哺乳回数も減らしていきました。



母親と御対面

ジャスミンの体調がだいぶ安定したため、柵越しに子どものムータンと対面させましたが、離れていた期間が長かったせいで、ムータンを攻撃しようとしたので、残念ながら2頭の同居は断念せざるを得ませんでした。レッサーパンダの場合、人工哺育で育てた子どもは親が育てた子どもに比べ、飼育員や他のレッサーパンダへの攻撃性が高くなると言われています。そのため、ムータンにはまだ子どものうちに、他の個体と同居できるようにしたいと考えました。

「茶々」との同居



茶々
性別：オス
誕生日：1993年6月27日
出生地：茶臼山動物園
来園日：1995年5月30日

そこで、当園で飼育している茶々と同居させることにしました。初めは、茶々の姿を見てかなり怯えて威嚇や攻撃をしていましたが、その後同居を繰り返すうちに、徐々に慣れてきたようでした。寝ている茶々のおいを嗅ぎに行ったり、距離はあるものの同じ空間で休んだりする様子も見られるようになってきました。ただ茶々は21歳と高齢（国内で2番目）のため、彼の状態を見ながらの同居になりそうです。



ムータンの成長

体重も順調に増え、生後3箇月で歯も生え始め、甘噛みもするようになってきました。今では竹の葉も食べるようになっています。体はまだまだ小さく、大人たちと同居できるようになるには、もう少し時間がかかりそうです。これからいろいろ経験させて、一人前のレッサーパンダに育ってくれることを願っています。



（種の保存展示課 岡部光太）

200スポット 81

長い間お世話になりました。

3月で定年退職する飼育員にスポットをあててみました。



『22歳当時』

皆様、あけましておめでとうございます。竹中靖典です。京都市動物園の飼育員として41年間勤めさせていただきました。



私は、平成20年に動物園へ来ました。小林幸雄です。担当しているのは、木や鉄（木工・鉄工）を使い、動物移動用木箱や檻の修理をしています。いわゆる園内の施設管理です。

中でも印象に残っているのは、妊娠中毒症のアカゲザルに帝王切開を行い、お腹から出てきた子ザルが仮死状態から初めて呼吸したときのことです。今でも鮮明に覚えています。

また、日本で初めてコフラミンゴが誕生し、日本動物園水族館協会から繁殖賞をいただいた時は本当に嬉しかったです。

そして、20代前半の頃から動物園外での仕事にも携わらせていただきました。ここまでやってこられたのも、動物園で一緒に働いてきた仲間たちのおかげと感謝しています。

長い間、ありがとうございました。

動物園は、子供たちの笑顔が見られる所だと思っていますが、同時にルールやマナーを学ぶ場所でもあります。なので、時には叱られ泣いている子供たちもいますが、そんな心も動物たちが癒してくれることなのでしょう。

平成28年春に、動物園はリニューアルオープンします。私は、オープンを前に定年退職を迎えるため、少し寂しい気持ちもありますが、孫たちと来られるのを大変楽しみにしています。

職員の方々には、大変感謝しています。ありがとうございました。

タンザニアの野生動物を訪ねて Part 9

～タンザニア研修～ 【セルー動物保護区を訪ねて！】



セルー動物保護区は九州の約1.4倍の面積をもつアフリカ最大の動物保護区です。草原の他に低木林や川など変化に富んだ環境をもち、いろいろな場所で野生動物たちに出会うことができました。



木陰で休憩する若いライオンたち



こちらの様子をうかがうキリン



宿泊施設の近くに現れたサバンナモンキー



ジープに乗ってゲームドライブへ



インバラの群れ



川の水面から顔を出すカバ



モモイロペリカンの群れ



枝葉を食べるアフリカゾウ

研修期間 2014年9月12～21日 (種の保存展示課 黒田恭子)

*この研修は、京都大学野生動物研究センターと連携して行っています。

定期購読を希望される方は、82円切手4枚（1年分）を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市長 門川 大作
事業所の名称：京都市動物園
事業所の所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町126
動物取扱業の種別：展示

登録番号：070051
登録年月日：平成19年5月22日
有効期間の末日：平成29年5月21日
動物取扱責任者氏名：岡橋 要

